

シネラ

fiaf

国際フィルム・アーカイヴ連盟=FIAFは
映画の保存を目的とする国際団体です。
福岡市総合図書館はFIAFの会員です。

あけまして
おめでとう
ございませ
うす



No-124

豊田四郎 稲垣浩

特別企画

稲垣浩と豊田四郎



生誕一〇〇年を迎えた日本映画の巨匠
稲垣浩監督と豊田四郎監督の代表作を上映



豊田四郎



特別企画
稲垣浩と豊田四郎

稲垣浩



2005年に生誕100年を迎えた
日本映画の巨匠稲垣浩監督と
豊田四郎監督の代表作を上映

1月5日(金)～20日(土) ※休館日・休映日除く
観覧料: 600円(大人) 500円(大学生・高校生) 400円(中学生・小学生)
主催: 福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ実行委員会 支援: 文化庁

* 定員制。各回入替制。
* チケットはすべて当日券。前売り券はありません。
* 障がい者の方及び福岡市在住の65歳以上の方は300円(手帳の提示が必要です)

雪国

おすすめ

●1月 8日(月・祝) 11:00 ●1月19日(金) 19:00
●1月14日(日) 14:00



1957年/35ミリ/モノクロ
134分/東宝
監督: 豊田四郎 出演: 池部良、岸恵子

山間の雪に埋もれた温泉宿。日本画家の島村は、この地で知り合った駒子のことが忘れられず、再び温泉にやって来た。駒子は義母とその息子・行男の病気の治療費を稼ぐために芸者になっていた。しかし駒子の島村への思いは芸者と客という範疇を越えたものだった。一方島村は東京に妻子があり、駒子との恋は決して成就しないものだということは二人は理解していた。一年に一度の島村の温泉滞在は二人の生き甲斐であった。翌年島村がやって来た時、駒子の義母も行男も亡くなっていた。島村は駒子に東京に来ないかと誘うのだが、駒子は申し出を断るのだった。日本文学史上に名高い川端康成の小説の映画化作品です。豊田監督はこの「雪国」の他にも「暗夜行路」「温泉綺譚」など著名な文学作品を数多く映画化しており、文芸映画の巨匠とされています。豊田監督の文学作品の映画化は、原作にほとんど手を加えず忠実に映画化する正統派ともいえる手法です。文学作品の感動をどれくらい映像化できるかは難しいものですが、この「雪国」はかなり成功しているといえるでしょう。但し文学では島村の一人称で語られますが、映画はその主観性が薄められ、駒子との生きた肉体を持った恋愛感情が強調されます。特に駒子を演じた岸恵子の素晴らしく魅力的な芸者姿、そして女としての色艶と情熱の表現は文学とは違う映像の特質と言えます。

無法松の一生

●1月 5日(金) 14:00
●1月13日(土) 11:00



喧嘩っ早いが侠気のあり、無法松のあだ名を持つ人力車夫の松五郎はある日、陸軍大尉の吉岡の一家と知り合う。しかし、吉岡大尉は亡くなり、松五郎は未亡人となった妻とまだ幼い子供に尽くすのだった…。戦時中、九州は小倉を舞台に、軍人の未亡人の親子と車夫の交流を描いた稲垣浩の代表作。

1943年/35ミリ/モノクロ/79分/大映
監督: 稲垣浩 出演: 阪東妻三郎、園井恵子

無法松の一生

●1月 6日(土) 17:00
●1月19日(金) 14:00



1943年の阪妻版「無法松の一生」が戦前と戦後、二度も検閲禍によりカットされたことから、監督自らワイド・スクリーン、カラー版としてリメイク。脚本も43年版と同じ伊丹万作のオリジナルを使用している。無法松役を三船敏郎、吉岡夫人役は高峰秀子。ヴェネチア映画祭グランプリを獲得。

1958年/35ミリ/カラー/104分/東宝
監督: 稲垣浩 出演: 三船敏郎、高峰秀子

手をつなぐ子等

●1月 6日(土) 11:00
●1月13日(土) 14:00
●1月18日(木) 19:00



知的障害のある少年、寛太は学校嫌いだったが、教育熱心な教師の松村や同級生の奥村少年の友情で学校が好きになる。しかしそこに恵童の金三が転入してきて…。戦前、闘病時代の伊丹万作が田村一二の原作をもとに書いた脚本を、稲垣浩が監督した感動的で情緒豊かな作品。

1948年/35ミリ/モノクロ/86分/大映
監督: 稲垣浩 出演: 笠智衆、初山たけし

宮本武蔵・決闘巖流島

●1月 6日(土) 14:00
●1月18日(木) 14:00
●1月20日(土) 17:30



1956年/35ミリ/カラー/104分/東宝

監督:稲垣浩 出演:三船敏郎、鶴田浩二

人間修行のために、畑を耕す武蔵のもとに、宿敵、佐々木小次郎から果たし状が届く…。第一部がアカデミー賞外国映画賞を受賞した、稲垣浩による「宮本武蔵」三部作の完結編。武蔵を三船敏郎、小次郎を鶴田浩二、クライマックスとなる二人の巖流島での死闘は圧倒的。

風林火山

●1月 7日(日) 14:00
●1月11日(木) 14:00
●1月20日(土) 14:00



1969年/35ミリ/カラー/166分/東宝=三船プロ

監督:稲垣浩 出演:三船敏郎、中村錦之助

浪人・山本勘助は壮大な野望を胸に甲斐の名将武田晴信(後に法名信玄)に仕官する。勘助は剣の腕も達つて策略にすぐれた才能を発揮し、次第に晴信の信頼厚い重臣になっていく。諏訪城を攻め落とした時、勘助は城内で由布姫を捕まえる。由布姫の美しさに心を動かされる勘助だが、晴信は由布姫を自分の元に置くよう命じる。由布姫は勝頼を産み若くして死んでしまう。そして武田には上杉謙信との戦いが迫っていた。中村錦之助が武田信玄を、石原裕次郎が上杉謙信を演じている。大スターの共演による壮大な戦国絵巻であり、大ヒット作となった。

猫と庄造と二人のをんな

●1月 8日(月・祝) 14:00
●1月17日(水) 14:00

(国際版)



1956年/35ミリ/モノクロ/104分/東京映画

監督:豊田四郎 出演:森繁久彌、山田五十鈴

谷崎潤一郎の原作を、豊田四郎監督、森繁久彌主演で映画化した作品。猫を溺愛する金物屋の庄造、その先妻だった品子は庄造の母おりに追い出された。後妻には持参金付きで不良娘の福子が治まるが…。憎めないダメ男を演じれば随一のうまさ誇る森繁の絶妙な演技と山田五十鈴、香川京子、浪花千栄子らの競演も見事な作品。

※ 本作のオリジナルは136分ですが、良好なポジプリントが存在せず、国際映画祭出品用の国際版を上映します。東京国立近代美術館フィルムセンター収蔵作品

夫婦善哉

●1月 7日(日) 11:00
●1月12日(金) 19:00



1955年/35ミリ/モノクロ/120分/東宝

監督:豊田四郎 出演:森繁久彌、淡島千景

文芸映画の第一人者として知られた豊田四郎の代表作。原作は「無頼派」の織田作之助。大阪の化粧品問屋の息子、柳吉は遊んでばかりの甲斐性なしでいい加減な男である。柳吉はそんな彼に惚れ抜いている芸者の蝶子と駆け落ちし、ついには勘当されてしまう…。大阪の下町の風情と男と女的情緒が見事に表現された名作。

如何なる星の下に

●1月13日(土) 17:00
●1月20日(土) 11:00



1962年/35ミリ/カラー/117分/東京映画

監督:豊田四郎 出演:山本富士子、池内淳子

江戸の名残を残す佃島のおでん屋「惣太郎」の婿養子である亭主・惣太郎は、傷痍軍人で酒と麻雀に明け暮れていた。そんな亭主でも女房のおまきには大切な存在だった。二人には三人の娘があり、それぞれ独自の道があるにいたが…。高見順の代表作である長編小説の映画化作品。原作に忠実な映画化が多い豊田監督だが、本作は原作では戦時中の物語を、戦後へと舞台を移している。そして高度経済成長期の日本を背景に、原作とは異なる喜劇的なメロドラマとなっている。

台所太平記

●1月12日(金) 14:00
●1月14日(日) 11:00



1963年/35ミリ/カラー/110分/東京映画

監督:豊田四郎 出演:森繁久彌、淡島千景

原作は谷崎潤一郎の小説で、作家の千倉は京都から伊豆に移り住むが、その間何人もお手伝いさんが入れ替わっていく。初は古風なタイプで貧しい漁村の出身だったが、結婚で家を出てしまう。梅は酒が好きならかななタイプだったが、彼女もまた結婚して出ていってしまう。その他グラマーで真面目な駒、九州出身の百合など様々な女性達の人生が描かれていく。森繁久彌演じるやや好色な作家を主人公として、乙羽信子、池内淳子などの女優陣が思う存分に魅力を発散させている。

放浪三昧

サイレント映画

弁士・
楽団付き上映

無声映画を弁士・楽団付きで
上映するシリーズ企画
今回は稲垣浩監督のサイレント期の
傑作「放浪三昧」を上映

1月21日(日) 14:00

観覧料:1,000円(事前予約が必要)

●申し込み方法

ハガキ、FAX、Eメールのいずれかで郵便番号、住所、氏名、電話番号、「放浪三昧鑑賞希望」と記入の上、下記まで応募して下さい。先着順で受け付けをいたします。受け付けた方には整理券(ハガキ)を発送します。申し込みは12月1日から1月15日(必着)まで。但し締め切り日前に定員を超えた場合、その時点で受付を中止いたします。15日までに満席とならない場合は残数は当日券として発売します。

●ハガキ応募先

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3-7-1
福岡市総合図書館 映像資料課「放浪三昧」係
FAX番号:092-852-0609 メールアドレス:silent@cinela.com

●上映作品

放浪三昧

1928年/16ミリ/モノクロ

サイレント/76分

片岡千恵蔵プロダクション

監督:稲垣浩 原作:脚本:伊丹万作

出演:片岡千恵蔵、市川文治、伊丹万作



伊達主水は腕自慢の若い侍だったが、ある日見知らぬ浪人に諭されてから、人生を考えるようになる。友人の安藤吉之助は妹のつゆと共に、ふさぎ込む主水を慰める。そしてつゆと主水は結婚する。小太郎という息子も生まれ幸せな日々だったが、主水は江戸詰めを命じられる。主水が留守の間、以前からつゆを狙っていた家老の息子莊六は、計略をつかってつゆを自分のものにするのだった。つゆは遺書を残して自害。それを知った主水は莊六を斬り、小太郎と共に放浪の旅に出るのだった。

伊丹万作脚本による、稲垣浩の監督第二作。但し監督第一作の「天下太平記」は現存せず、本作が現在鑑賞できる稲垣監督最古の作品であり、冒頭と後半の一部が欠落しているが、ほぼ全編が残っている貴重な作品でもある。体制から離脱して放浪する主人公の生き方も新鮮で、稲垣の楽天的な演出が暗さを感じさせない。豪快なチャンバラシーンも見事である。

●弁士

澤登 翠

東京都出身。故松田春

翠門下。活動弁士とし

てのキャリアはすでに30

年以上であり、洋画、現代劇、時代劇と多彩な

レパートリーを持つ。日本国内だけでなく、海外

での公演も多く、「伝統話芸・活弁」を現代に

つたえる貴重な存在として活躍している。映画

評やエッセイストとしても活動している。2002年

文化庁芸術祭優秀賞など、受賞歴多数。



●楽団

カラード・モノトーン

無声映画の音楽(生演奏)を行うために結成された専属合奏団。87年「国民の創生」の音楽制作・演奏を担当して以来、活動写真の音楽を研究し、澤登翠と共に各地で公演を行っている。

湯浅丈一(作曲・編曲・指揮・三味線)、新田隆(ピアノ)
鈴木真紀子(フルート)、西野ゆか(ヴァイオリン)
足立克巳(パーカッション)

※メンバー、楽器は変更されることがあります。

2006年 12月
28 木

年末年始の休館日

4 木

5 金

6 土

7 日

8 月(祝)

9 火

10 水

11 木

12 金

13 土

14 日

15 月

16 火

17 水

18 木

19 金

20 土

21 日

22 月

23 火

24 水

25 木

26 金

27 土

28 日

29 月

30 火

31 水

稲垣浩と豊田四郎

	(14:00) 無法松の一生(阪妻主演)	
(11:00) 手をつなぐ子等	(14:00) 宮本武蔵・決闘巖流島	(17:00) 無法松の一生(三船主演)
(11:00) 夫婦善哉	(14:00) 風林火山	
(11:00) 雪国	(14:00) 猫と庄造と二人のをんな(国際版)	
	休館日	
	休映日	
(14:00) 風林火山		
猫と庄造と二人のをんな	(14:00) 台所太平記	(19:00) 夫婦善哉
(11:00) 無法松の一生(阪妻主演)	(14:00) 手をつなぐ子等	(17:00) 如何なる星の下に
(11:00) 台所太平記	(14:00) 雪国	
	休館日	
	休映日	
(14:00) 猫と庄造と二人のをんな(国際版)		
(14:00) 宮本武蔵・決闘巖流島	(19:00) 手をつなぐ子等	
手をつなぐ子等	(14:00) 無法松の一生(三船主演)	(19:00) 雪国
(11:00) 如何なる星の下に	(14:00) 風林火山	(17:30) 宮本武蔵・決闘巖流島
(14:00) サイレント映画弁士・楽団付き上映・放浪三昧		



猫と庄造と二人のをんな



手をつなぐ子等



台所太平記



無法松の一生



風林火山



夫婦善哉

自主上映「福岡映画サークル2007年第1回例会」

休映日

休館日

休映日

休館日

INFORMATION

■ 自主上映のお知らせ

1月27日(土) 福岡映画サークル2007年第1回例会

● ココシ(11:00) (13:00) (15:00)

観覧料/前売:1,200円、当日:1,400円、シニア:1,000円 主催/福岡映画サークル協議会
(TEL 092-781-2817) * 詳細については、直接主催者にお問い合わせください。

■ ビデオ編集技術研修室のご案内

ビデオ研修室では、家庭で撮影されたビデオテープ(例えば旅行、結婚式、学校行事など)の編集に利用できます。(使用料1時間500円) * 詳しくは福岡市総合図書館(代表) 092(852)0600ビデオ研修室まで

■ 交通アクセス

当館の駐車場スペースに限りがありますので、できるだけ公共交通機関をご利用ください。

地下鉄: 西新駅または藤崎駅から徒歩15分

西鉄バス: *天神~都市高速経由~福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約20分) *博多駅~都市高速経由~福岡タワー南口(所要時間: 昼間で約25分) 福岡タワー南口/バス停から徒歩3分。いずれも、昼間は10~15分間隔で運行されていますので、大変便利です。お近くのバス停からのご利用につきましては、西日本鉄道テレホンセンター(電話 733-3333)に直接お問い合わせください。

福岡市総合図書館
映像ホール・シネラ〒814-0001
福岡市早良区百道浜3丁目7番1号
福岡市総合図書館
(代表) 092(852)0600
映像資料課 092(852)0608
FAX 092(852)0609
福岡市総合図書館 映像ホール・シネラ
ホームページアドレス
<http://www.cinela.com>

ICAL

株式会社 アイカル

〒814-0001
福岡市早良区百道浜2丁目1-22
福岡SRPセンタービル7階
TEL 092-832-8831
URL: <http://www.ical.co.jp>

収蔵作品特集

マレーシア映画特集

急速に発展する東南アジアの映画国マレーシアの90年代以降映画を特集

2月1日(木)~11日(日) * 休館日・休映日除く

● 上映作品

「アドナン中尉」

2000年/監督: アズィズ・M・オスマン

「ビッグ・ドリアン」

2003年/監督: アミール・ムハマド

「砂利の道」

2005年/監督: ディーバク・クマラン・メーナン

ほか全9作品

収蔵作品特集

アーカイヴ・コレクション展 Part2

寄贈・寄託された作品の中から、他では見られない貴重な作品を特集

2月14日(水)~18日(日)

● 上映作品

「ファイナル・ファイト 最後の一撃」

1989年/監督: 後藤秀司/出演: 倉田保昭

「黄龍 イエロードラゴン」

2002年/監督: 鹿島勤/出演: 倉田保昭

ほか全7作品



特別企画

「炭鉱に生きる」アンコール

筑豊の炭鉱で生きた人々をテーマとしたドキュメンタリー映画「炭鉱に生きる」をアンコール上映。海底炭鉱池島を記録したドキュメンタリー映画を同時上映

2月22日(木)~25日(日)

主催: 福岡市総合図書館

映像ホール・シネラ実行委員会

協力: 九州大学附属図書館

● 上映作品

「炭鉱に生きる」

2004年/監督: 萩原吉弘

「海底炭鉱に生きる 池島からの報告」

1983年/監督: 野崎健輔



©2006 Sakube Yamamoto

■ ホームページ

「うえぶシネラ」をご覧ください。

● うえぶシネラアドレス

<http://www.cinela.com>